



はたららくネット



広報紙「はたららくネット」では、より多くの方々に障害のある方の就労について理解を深めていただけるように、積極的に障害者雇用に取り組んでいる事業者の取り組み事例を紹介しております。今号では、国家公務員共済組合連合会東北公済病院の取り組みをご紹介します。

●国家公務員共済組合連合会東北公済病院（仙台市青葉区）



病院外観

国家公務員共済組合連合会東北公済病院（以下、「東北公済病院」と言います）は、国家公務員共済組合連合会が昭和26年に設立した病院です。

事務部次長の金子幸司さんにお話を聞きました。

— はたらポート仙台との出会い —

東北公済病院では、30年以上前から障害者雇用に取り組んできましたが、近年の法定雇用率の上昇に伴い、法定雇用率を満たすことが難しい状況になりました。5年前に開催された「障害者雇用促進セミナー」へ参加して、初めて「はたらポート仙台」の存在を知りました。それまでは、ハローワークを通じて障害のある方を採用していました。しかし、せっかく採用したにもかかわらず、すぐに退職してしまうという状況が続き、障害者雇用の取り組みに行き詰まりを感じていました。当時のことを振り返ると、障害の状況に応じて人員の配置をするなどの配慮ができておらず、人員の足りないところに障害の

ある方を配置していました。それゆえ、障害のある方が体調を崩してしまうといった事態が起り、対応に追われることが多くなりました。我々だけで障害者雇用を進めることは無理があると思い、はたらポート仙台に協力を依頼し、採用までのサポートをしていただくことになりました。

まず、院内のすべての部署に対し、障害のある方をお願いできる仕事についてアンケート調査を行い、その結果をもとに、各部署の責任者とさらに詳しい業務内容や勤務時間などについて話し合いをしました。すべての部署に受け入れを打診したことには、明確な目的がありました。それは、障害のある方に定年まで働いていただくためには、受け入れ先が一つの部署だけでは持続的な雇用は難しいと考えたからです。



事務部次長の金子さん(写真左)と
総務課長の高橋さん(写真右)

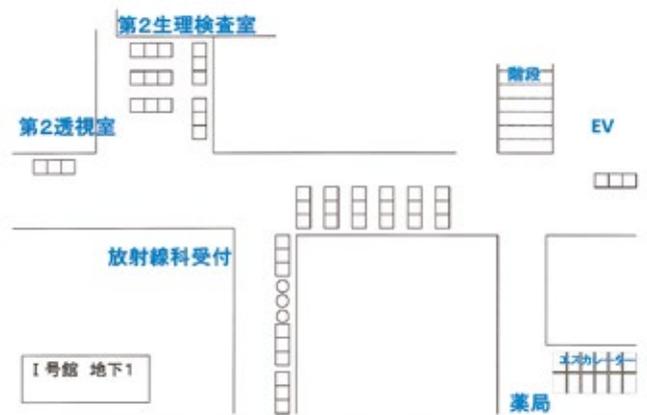
一 職場見学・実習 一

次に、はたらポート仙台と連携し、障害のある方に向けた職場見学・実習を行いました。一緒に働く職員との交流を通して働く環境について知っていただき、実際の仕事を体験して自分にできそうかどうかを考えていただくためです。そのようにすることで、就労後のミスマッチを減らすことができます。面接は、実習に参加した方が希望する場合にのみ行いました。以上が採用までの流れです。

始めは受け入れに消極的な部署もありましたが、組織全体として障害者雇用に取り組む必要があることを伝え、理解を求めました。私はこの職場の勤続年数が高いこともあり、ほとんどの部署の責任者と顔見知りのため、コミュニケーションを図りやすかったことは幸いでした。具体的にどのような仕事をさせていただくと自分たちは助かり、障害のある方の得意なところを伸ばして働いてもらえるのか、お互いに働きやすい職場づくりを目標に粘り強く話し合い、徐々に受け入れてくれる部署が増えていきました。

しかし、初めて障害のある方を受け入れた部署では、「接し方や指導方法が分からない」「手際の時間が生じている」などの不安や戸惑いの声が上がりました。そこで、小まめに現場へ足を運び、何に困っているのかを尋ねるようにしました。常に心掛けていたことは、決して現場任せにはしないということです。「何か困っていることはないか」と、こちらからコミュニケーションを取るようにしました。当初「大変だ」と悩んでいた現場の担当者が、今では「とても助かっている」と話しており、非常に嬉しく思います。

また、仕事を覚えていただくために、それぞれの方に合わせたマニュアルを作成しました。例えば、待合室の椅子の拭き作業では、椅子の配置図を作成し、拭く順番を一つ一つ丁寧に教えました。また、業務時間割を作り、一日の仕事の流れが目で見えるようにしました。今ではそれを見ながら、それぞれが自主的に仕事に取り組んでいます。現場の職員から、「(障害者雇用を)やってみるとそれほど心配することではなかった」「きちんと仕事をしてくれて戦力になっている」との声が聞かれ、障害のある方と働くことは、周囲に良い影響を与えていると実感しています。



椅子の配置図

一 業務時間割 一

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	場所	業務	場所	業務	場所	業務	場所	業務	場所	業務
08:30	【Ⅱ号館7階】		【Ⅱ号館7階】		【Ⅱ号館7階】		【Ⅱ号館7階】		【Ⅱ号館7階】	
09:00	廊下、会議室等	・清掃作業	廊下、会議室等	・清掃作業	廊下、会議室等	・清掃作業	廊下、会議室等	・清掃作業	廊下、会議室等	・清掃作業
09:30	【会計課】	日計表:	【会計課】	日計表:	【会計課】		【会計課】	日計表:	【会計課】	日計表:
10:00		・ハンコチェック		・ハンコチェック	医事課	紫ファイル清拭		・ハンコチェック		・ハンコチェック
10:30		・ホチキス外し		・ホチキス外し	シュレッダー			・ホチキス外し		・ホチキス外し
11:00	エレベータ前	・シュレッダー	エレベータ前	・シュレッダー	エレベータ前	・シュレッダー	エレベータ前	・シュレッダー	エレベータ前	・シュレッダー
11:30		ゴミ片付け清掃								
12:00	昼休み		昼休み		昼休み		昼休み		昼休み	
12:30										
13:00	【Ⅱ号館7階】		【Ⅰ号館1階】		【Ⅰ号館1階】		【Ⅰ号館1階】		【Ⅰ号館1階】	
13:30		紫ファイル清拭		紫ファイル清拭		紫ファイル清拭		紫ファイル清拭		紫ファイル清拭
14:00										
14:30										
15:00										
15:30	【Ⅰ号館】		【Ⅰ号館】		【Ⅰ号館】		【Ⅰ号館】		【Ⅰ号館】	
16:00	1階～2階		1階～2階		1階～2階		1階～2階		1階～2階	
16:30	待合室 他	・待合イス清拭	待合室 他	・待合イス清拭	待合室 他	・待合イス清拭	待合室 他	・待合イス清拭	待合室 他	・待合イス清拭
17:00										

一 定着支援の活用 一

長く働いてもらうための取り組みの一つに、支援機関による定着支援があります。支援者が障害のある職員や現場の担当者と定期的に面談をして下さいます。我々が支援者に必ず確認することは、体調を崩されるきっかけはどのようなものなのか、不調になった時に我々はどのように対応すると良いのか、また、そのような状況に陥らないために我々が配慮すべきことは何かということです。対応の仕方がわからない時は支援者に相談するようにしています。縁があって就職いただいたからには、



できるだけ働きやすい環境づくりをすることが使命だと思っています。福祉サービスなどの社会資源は最大限活用しています。就労移行支援事業や定着支援事業は、採用された方それぞれに手厚く支援を行う素晴らしい仕組みだと思います。

最近、支援機関よりも職場の方が本人のことを詳しく知っているのではないかといいことに気がつきました。定着支援はいつまでも続くわけではなく、いつかは我々だけになります。支援機関が関わってくれている間に、知り得ることは知っておかないといけないということがわかりました。

— 今後の課題 —

今後の課題は、採用した職員に長く働いてもらうために、どのような体制作りが必要なのかを考えることです。自分が定年を迎える前に、次の世代へ障害者雇用のノウハウを引き継ぎ、繋がりを絶やさないようにしたいです。各現場の責任者や担当者とのコミュニケーションの取り方、障害のある職員一人一人との関係性を構築するスキルを伝えていかなければなりません。現在働いている職員が活躍してくれているお蔭で、病院全体が障害者雇用に前向きに捉えています。定年まで長く働いてもらえるような環境を作っていきたいです。

令和3年10月から働いているAさんにお話を聞きました。

働き始めたきっかけは？

はたらポート仙台の支援を受けている時に、現職の求人について教えていただき、見学や実習に参加しました。実習で作業体験をし、前職の経験が活かせる仕事だと思い、応募しました。



業務をしているAさん

業務内容を教えてください。

患者さんが使うファイルの拭き作業、廊下や事務所・会議室などの清掃、病院のパンフレットや問診票の印刷、仙台合同庁舎診療所に書類や診療に使う道具を届けることです。

大変なことは？

最初は、各診療科の場所がわからず大変でしたが、普段から病院内を見て回るなど、覚えるための工夫をしました。ファイルの拭き作業も最初は時間内に終わらず苦労しましたが、職員に相談し、手順を変えていただき、徐々に慣れて今では早く終わるようになりました。

嬉しいこと、楽しいことは？

働いていて嬉しいことは、お給料をもらえることや貯金をすることです。先日、病院の福利厚生サービスを利用して、母と山形の温泉に行きました。母がとても喜んでくれて、嬉しかったです。また、職員の方に「助かっているよ」と声をかけていただくことも、励みになっています。

今後の目標は？

自分に任された仕事を全うすることです。そのために、生活リズムを整え、バランスの良い食事をとっています。そして、疲れたら休むように心掛けています。自分の身体の弱いところをきちんと把握して、常に体調を見直すようにしています。

働きたい障害のある方へのメッセージをお願いします。

働き続けるためには、健康に気を付けることが大切だと思います。





令和4年1月から働いているBさんにお話を聞きました。



働き始めたきっかけは？

学生時代に情報を学び、パソコン関係の仕事に就きたいと思っていたところ、就労移行支援事業所から現職の求人情報を教えてくださいました。実習を行い、病院のITがどういうものなのかと興味が湧き、応募しました。

業務内容を教えてください。

医療情報システムの保守業務と病院内の主に電子カルテに関係する各部署の運用構築のお手伝いです。

大変なことは？

システムの不具合などは、いつ何が起こるかわかりません。その時その時の判断が求められ、自分の対応が正しかったのかどうか心配になることがあります。処理の仕方についてある程度あたりをつけてから、実際の状況を確認して対応します。自分の手に負えないと判断したら、上司に相談しています。

嬉しいこと、楽しいことは？

自分でプログラムを作ったり、普通なら知ることができない病院ならではのことを知ることができたりすると面白く感じています。また、病院内では自動化が進んでおり、自分で考えた業務の改善点を上司に伝えて、許可をいただけた時が嬉しいです。

今後の目標は？

仕事を円滑に進めるためにももう少し周囲とコミュニケーションを取れるようになればと思っています。そのために、できるだけ報連相を意識するようにしています。

働きたい障害のある方へのメッセージをお願いします。

いつどこで人との縁があるかわからないので、色々やってみて惹かれるものがあれば、ぜひ挑戦してみたいと思います。自分も働いていて一杯一杯になっているところはありますが、上手くいったらそれはそれで良いし、上手くいかなかったら、そのことも経験になると思います。無理せずに頑張ってください。



Bさん



Bさんの上司の方にお話を聞きました。



Bさんは、医療情報システムと情報管理の保守業務を担当しています。具体的には、職員の入退職の情報が入力されたデータにプログラムを組んで加工し、各システムに適応するための自動変換の仕組みを作成しています。その他、電子カルテのユーザー管理や診療録の訂正、月末月初の処理などを行っています。

始めは簡単な業務をお願いしていましたが、こちらの予想よりも良い仕上がりにとても驚かされました。次第にBさんから「この仕事をやっても良いですか」と聞かれ、手順だけ明確にするように伝えて任せるようになりました。得意なことをお願いすると能力を最大限発揮してくれるということがわかりました。

Bさんには言葉が出づらいという特性がありますが、伝えたいことを資料にまとめて「これでいかがでしょうか」と確認してくれるので、意思の疎通を図ることができます。また、病院内のポータルサイトを変更する際、Bさんをお願いしたところ、対応をしてくれてとてもありがたかったです。レベルの高い仕事を担う、重要な戦力として活躍しています。

これからも長く働いていただけるように、Bさんの特性を理解して、環境を整えていきたいと思っています。

発行：仙台市障害者就労支援センター「はたらポート仙台」

(指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会)

住所：仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階

電話：022-772-5517 FAX：022-772-5519

Mail：info@sendai-wsc.jp HP：https://www.sendai-wsc.jp

